

コード番号 C109

講習名	【選択】防災教育・学校園防災のために知る津波被災・原発震災の教訓			
開設日時	8月21日(土)	担当講師	林 衛	
会場	富山大学(五福キャンパス)	募集人数	50人	時間数 6時間
認定対象職種	教諭・養護教諭	主な受講対象者	幼稚園、小学校、中学校・高等学校教諭、養護教諭	
受講料	6,000円	受講料以外の経費	なし	
<p>講習の概要 緊急事態では、学校組織一体となった協力関係が求められる。一方、情報不足が決断を遅らせる事態も発生する。東日本大震災・原発震災では、巨大津波や原発事故の影響で学校現場でも被害や影響が広がった。学校現場で何が起こったのか、宮城県石巻市立大川小学校、石巻市日和幼稚園及び福島県などの事例(裁判判決、判決後の動きなど、最新情報を含む)を取り上げ、学校防災・防災教育のために必要な学校での備えを参加者で検討する。</p>				
<p>到達目標及びテーマ マニュアルがあっても、その想定を越えた事態が生じるのが自然災害の特性である。事態対応のために教員に求められる知識、判断・決断が何であるのか、大川小、日和幼稚園他のケーススタディを通して分析、検討する。阪神・淡路大震災、熊本地震、近年多発する水害事例、想定される北陸大震災についても紹介。学んだ知識(防災の場合では、震度やマグニチュード、活断層など)を覚えるだけでなく、生かせるようにするためのヒント、実践例も示す。</p>				
<p>講習の授業計画 1.(9:00-10:20) その時、大川小学校校庭で何が生じていたのか(他の学校、幼稚園との比較から) 2.(10:30-11:50) なぜ「天災は忘れた頃にやってくる」のか―「忘災」「想定外」の原因に目を向けよう 3.(12:50-14:10) 低線量被曝問題が混乱を続ける原因―市民社会の中での理性のはたらき 4.(14:20-15:40) 学校安全体制の再検討と疑問を励ます公教育の重要性 5.(16:00-16:40) 筆記試験</p> <p>※試験終了後、受講者評価アンケートを実施する。</p>				
テキスト	事前に適宜メールにて連絡する。PDFファイルで提供予定。			
参考資料等	事前に適宜メールにて連絡する。			
履修認定(試験)の方法	筆記試験を実施する。筆記試験の中には、勤務校の状況に応じた防災体制についての設問、討論型授業の設計が含まれる場合もある。			
留意事項(各自で準備するものなど)	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の講習時間を有効に使うために、テキスト及び参考資料に目を通した上で検討していただきたい事項をメールで連絡する。なお、メールの送付先は受講手続時に登録のあったメールアドレスとする。 ・勤務校で現実を考えさせられている事例を他の事例とともに検討したいなどのリクエストがあれば、7月末日ごろまでに以下の宛先へ知らせてください。 メール宛先: hayasci@edu.u-toyama.ac.jp (林) 			
備考				